

理科調査資料 作成の観点

書名	<div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;"> ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ </div>	発行者番号 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">発行者名</div>
項目		
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにするために、どのような工夫がされているか。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○観察、実験などを行い、問題解決の力を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p><見通しをもって観察、実験を行うための工夫> ○児童が見いだした問題に対して、予想や仮説をもち、それらを基にして観察、実験などの解決の計画や方法を発想するために、どのような工夫がされているか。</p> <p><自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫> ○考えられた仮説に対して、観察、実験などを複数回行ったり、話し合ったりしながら科学的に解決するために、どのような工夫がされているか。</p>	
資 料	○学習効果を高めるために、どのような資料が用意されているか。 ○挿絵、写真、図表などの位置と本文との関連に、どのような工夫がされているか。	
表記・表現	○記号、用語、単位などの使い方に、どのような工夫がされているか。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、児童の発達の段階からどのような配慮がされているか。	
総 括	(全体的な特徴、その他)	

書名 項目	<h1>新しい理科</h1>	2 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">東 書</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○観察・実験では、準備物の一覧と手順が写真や図を使って示されている。また、単元末に「ふりかえろう」や「たしかめよう」の問題があり、単元で得た知識の復習ができるように工夫されている。さらに、観察・実験の後に「広げよう！理科の発想」の問題があり、学習内容を振り返ることができるように構成されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○問題解決の過程を「学びのライン」でつなぎ、学びの流れが示されている。ノートの取り方の参考や「思考力、判断力、表現力等」について振り返りを促すような記述がされている。具体的な対話例を参考に、思考できるように工夫されている。「考えよう」では、思考力、判断力、表現力等を一層育成できるように工夫されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○生命尊重や環境保全に関わる内容には、「環境マーク」を付けている。単元導入の活動「レッツトライ」を設け、児童が自然の事物・現象に触れて主体的に問題を見いだすことができるように工夫されている。児童の疑問を基に、実験の流れを提示し、主体的に問題解決に取り組むことができるように工夫されている。</p> <p><見通しをもって観察、実験を行うための工夫> ○「理科の学び方」で問題解決の過程を示し、学んだことが次の問題へつながるように構成されている。また、それに合わせたノートのまとめ方が示されており、学習の流れをより意識できるように工夫されている。導入では、既習内容や生活経験との関連から単元の見通しをもたせ、興味・関心を喚起するように配慮されている。キャラクターの台詞が、理科の見方・考え方をどのように働かせるかが示されている。</p> <p><自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫> ○問題解決の過程に沿った構成になっている。また、キャラクターの台詞が問題解決における理科の見方・考え方のヒントになっており、児童が問題を科学的に解決できるように工夫されている。「問題をつかもう」では、実際に同じ体験をさせることで、どの児童からも疑問が引き出せるように配慮されている。同一の実験を複数回、又は複数の実験方法で検証する例が示されている。</p>	
資 料	<p>○単元冒頭にはダイナミックな写真と問題を見つけるための活動があり、児童が自ら問題解決に取り組むことができるように工夫されている。</p> <p>○各単元に QR コードの活用問題があり、内容を深く理解できるように工夫されている。</p> <p>○吹き出しを使って児童が考える視点やヒントを与えて、問題解決をサポートできるように配慮されている。</p> <p>○授業の流れの中で QR コードによる参考情報や理科ノートが活用できるように工夫されている。</p>	
表記・ 表現	<p>○ UD 書体を採用し、字形を判別しやすく読み間違えにくいように工夫されている。</p> <p>○色覚の多様性を考慮し、CUD の観点から識別しやすいよう配色やデザインを用いている。</p> <p>○単語の途中で改行せず、文節で改行して読みやすくするように工夫されている。</p> <p>○単元導入のページと節末の「まとめ」では、全ての漢字に振り仮名を付けている。</p>	
総 括	<p>○巻頭で「各学年で学ぶこと」や「理科の学び方」を示し、各学年での学習内容や学習の流れ、問題解決の過程を意識できるように工夫されている。</p> <p>○安全に配慮が必要な箇所には、赤で「きけん」のマークを配置し、注意を促している。</p>	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">たのしい理科</h1>	4 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">大日本</div>
内 容	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞</p> <p>○観察・実験では、手順やポイントが写真や図を使って示されている。また、単元末の「確かめよう」では、学習事項がキーワード等を用いて児童自ら確認できるように工夫されている。さらに、巻末には、器具の使い方が写真や図を用いて掲載されており、復習できるように工夫されている。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <p>○育成を目指す問題解決の力に◆マークを付けて強調し、重点的に育成できるように工夫されている。ノートの例や、具体的な対話例から、児童の発想や表現を引き出すための工夫がされている。「学んだことを生かそう」や「チャレンジ問題」では、思考力、判断力、表現力等を一層育成できるように工夫されている。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <p>○生命を尊重する態度を育てる場面や自然環境と人間の共生について考える場面として「環境マーク」を付けている。気付きや疑問、考えのヒントを吹き出しで示し、見通しをもって主体的に学習に取り組めるように工夫されている。「サイエンスワールド」では、学習した内容と生活を関連付けることで、学びを実感できるように工夫されている。</p> <p>＜見通しをもって観察、実験を行うための工夫＞</p> <p>○「理科の学び方」で問題解決の過程を示し、学んだことが次の問題へつながるように構成されている。また、それに合わせたノートのまとめ方が示されており、学習の流れをより意識できるように工夫されている。導入では、既習内容や生活経験との関連から単元の見通しをもたせ、興味・関心を喚起するように配慮されている。キャラクターの台詞が、理科の見方・考え方をどのように働かせるか理解しやすいように工夫されている。</p> <p>＜自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫＞</p> <p>○問題解決の過程に沿った構成になっている。また、キャラクターの台詞や会話が問題解決における理科の見方・考え方のヒントになっており、児童が問題を科学的に解決できるように工夫されている。「問題を見つける」では、実際に同じ体験をさせることで、どの児童からも疑問が引き出せるように配慮されている。同一の実験を複数回、又は複数の実験方法で検証する例が示されている。</p>	
資 料	<p>○単元冒頭にダイナミックな写真と吹き出しを活用した意見例を示すことで、児童が自ら問題を見つけることができるように工夫されている。</p> <p>○各単元に活用問題があり、学習した内容を深く理解できるように工夫されている。</p> <p>○吹き出しを使って児童が考える視点やヒントを与えて、問題解決をサポートできるように配慮されている。</p> <p>○授業の流れの中でQRコードによる参考情報が活用できるように工夫されている。</p>	
表記・表現	<p>○UD書体を採用し、字形を判別しやすく読み間違えにくいように工夫されている。</p> <p>○色覚の多様性を考慮し、CUDの観点から識別しやすい配色やデザインを用いている。</p> <p>○単語の途中で改行せず、文節で改行して読みやすくするように工夫されている。</p> <p>○当該学年で学習する漢字には全て振り仮名を付けている。</p>	
総 括	<p>○巻頭で「理科の学び方」と各学年では「特にココ！」を示し、問題解決の過程や各学年で育成を目指す問題解決の力を意識できるように工夫されている。</p> <p>○安全に配慮が必要な箇所には、赤で「注意」のマークを配置し、注意を促している。</p>	

書名 項目	<h1 style="text-align: center;">みんなと学ぶ 小学校理科</h1>	<div style="text-align: center;">1 1</div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">学 図</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○観察・実験では、準備物のチェック欄があり、手順も写真や図を用いて示されている。また、単元末に「ふりかえろう」の問題があり、復習できるように工夫されている。巻末には、観察・実験のポイントや、理科室の使い方、器具の使い方が掲載されており、復習できるように工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○問題解決の過程が記載されている。「考察」では、考える視点を明確に示し、ノート書き方の例や図や表を活用する例が提示されており、思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫がされている。「活用学びを生かそう」では、話し合う活動を取り入れることで思考力、判断力、表現力等を一層育成できるように工夫されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○自然を大切にするために気をつけることにマークを付け、人が他の動植物と関わりながら生きている内容を取り上げている。児童が問題解決の過程を明確に意識できるようにページの左にバーで示されている。単元冒頭で身に付けたい力を3つずつ示し、単元末において同じ観点で学びを振り返ることができるように工夫されている。</p> <p><見通しをもって観察、実験を行うための工夫></p> <p>○「科学の芽を育てよう」で問題解決の過程を示し、学んだことが次の問題へつながるように構成されている。また、それに合わせたノートのまとめ方が示されており、学習の流れをより意識できるように工夫されている。導入では、既習内容や生活経験との関連から単元の見通しをもたせ、興味・関心を喚起するように配慮されている。キャラクターの台詞に下線が引かれ、理科の見方・考え方をどのように働かせるかが強調されている。</p> <p><自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫></p> <p>○問題解決の過程に沿った構成になるように工夫されている。また、児童が問題を科学的に解決できるよう、理科の見方・考え方について、キャラクターの台詞によって明示されている。「問題をみつけよう」では、実際に同じ体験をさせることで、どの児童からも疑問が引き出せるように配慮されている。同一の実験を複数回、又は複数の実験方法で検証する例が示されている。</p>	
資 料	<p>○単元冒頭でダイナミックな写真と学習の概要について疑問を交えて示し、児童が見通しをもって問題解決に取り組むことができるように工夫されている。</p> <p>○QRコードを使った活用問題があり、学習した内容を深く理解できるよう工夫されている。</p> <p>○吹き出しを使って児童が考える視点やヒントを与えて、問題解決をサポートできるように配慮されている。</p> <p>○授業の流れの中でQRコードによる参考情報が活用できるように工夫されている。</p>	
表記・表現	<p>○UD書体を採用し、字形を判別しやすく読み間違えにくいように工夫されている。</p> <p>○色覚の特性をふまえ、CUDの観点から識別しやすい配色を用い、色名を表示している。</p> <p>○単語の途中で改行せず、文節で改行して読みやすいように工夫されている。</p> <p>○当該学年の配当漢字には、単元初出に振り仮名を付けている。</p>	
総 括	<p>○巻頭で「各学年で学ぶこと」や「科学の芽を育てよう」を示し、各学年での学習内容や学習の流れ、問題解決の過程を意識できるように工夫されている。</p> <p>○安全に配慮が必要な箇所には、赤で「注意」のマークを配置し、注意を促している。</p>	

書名 項目	<h1>未来をひらく 小学理科</h1>	17 教 出
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○観察・実験では、準備物のチェック欄があり、手順が図や言葉を用いて示され、大切な言葉は視覚的に工夫されている。また、単元末の「ふり返ろう」や「確かめよう」で、学習内容の確認ができるように工夫されている。巻末には、器具の説明や理科室の使い方が載っており、確認できるように配慮されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○見通しがもてるように問題解決の過程が記載されている。「結果から考えよう」では、結果によって予想が確かめられたか考えを促すように工夫されている。対話例の中に見方・考え方のカギがあり、児童の考えのヒントとなるように工夫されている。「確かめよう」では思考力、判断力、表現力等を一層育成できるように工夫されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○SDGs に関連する資料には該当する目標の SDGs マークを付けている。単元の導入では、児童が話し合いや活動の中で主体的に問題を見だし、解決していく流れを表現できるように工夫されている。単元導入と単元末において、自分の成長が実感できる場面を設け、次の学びに向かう力につながるように工夫されている。</p> <p><見通しをもって観察、実験を行うための工夫> ○「学習の進め方」で問題解決の過程を示し、学んだことが次の問題へつながるように構成されている。また、それに合わせたノートのとめ方が示されており、学習の流れをより意識できるように工夫されている。導入では、既習内容や生活経験との関連から単元の見通しをもたせ、興味・関心を喚起するように配慮されている。キャラクターの台詞に下線が引かれ、理科の見方・考え方をどのように働かせるかが強調されている。</p> <p><自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫> ○問題解決の過程に沿った構成になるように工夫されている。また、理科の見方・考え方を働かせたキャラクターの台詞にカギマークが付いており、児童が科学的に問題を解決できるように工夫されている。「見つけよう」では、実際に同じ体験をさせることで、どの児童からも疑問が引き出せるように配慮されている。同一の実験を複数回、又は複数の実験方法で検証する例が示されている。</p>	
資 料	<p>○単元冒頭にダイナミックな写真とその写真から生まれる疑問が示され、児童が見通しをもって問題解決に取り組むことができるように工夫されている。</p> <p>○発展的な内容の記述があり、学習した内容を深く理解できるように工夫されている。</p> <p>○吹き出しを使って児童が考える視点やヒントを与えて、問題解決をサポートできるように配慮されている。</p> <p>○授業の流れの中で QR コードによる参考情報が活用できるように工夫されている。</p>	
表記・表現	<p>○ UD 書体を採用し、字形を判別しやすく読み間違えにくいように工夫されている。</p> <p>○色覚の特性をふまえ、CUD の観点から識別しやすい配色を用い、色名を表示している。</p> <p>○単語の途中で改行せず、文節で改行して読みやすくなるように工夫されている。</p> <p>○当該学年の配当漢字には、単元初出に振り仮名を付けている。</p>	
総 括	<p>○巻頭で「自分たちの考えを伝え合い、学び合おう」や「学習の進め方」を示し、働かせたい見方・考え方を明示し、問題解決の過程を意識できるように工夫されている。</p> <p>○安全に配慮が必要な箇所には、「注意・危険」のマークを配置し、注意を促している。</p>	

書名 項目	<h1>楽しい理科</h1>	26 信 教
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○観察・実験では、準備物と手順が写真や言葉を用いて示されている。また、実験の手順のページに実験で扱う器具の使い方が一緒に掲載されており、確認できるように配慮されている。さらに、単元末の「ふりかえろう」では、学習内容が振り返ることができるように工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「理科の学習の進め方」では、見通しをもって観察・実験ができるように問題解決の過程を図に表して記載されている。「結果」では、学年の発達段階に応じて、理科的な用語を使いながら図やグラフ、表などを用いて実験結果や観察記録の記述例が示されており、児童の表現力を育成できるように工夫されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○あらゆる生物が生きる上で、自然界の循環や連鎖が大きく影響している事実を、意識が向くように配慮している。気付きや疑問、考えのヒントを吹き出しで示し、児童が主体的に問題解決できるように工夫されている。単元冒頭には事象提示から問題意識を呼び起こすようなリード文を置き、既習学習や生活経験の想起の場が設定されている。</p> <p><見通しをもって観察、実験を行うための工夫> ○「理科の学習の進め方」で問題解決の過程を示し、学んだことが次の問題へつながるように構成されている。導入では、既習内容や生活経験との関連から単元の見通しをもたせ、興味・関心を喚起するように配慮されている。キャラクターの台詞が、理科の見方・考え方をどのように働かせるか理解しやすいように工夫されている。実験の様子が大きな写真で示され、実験方法がよくわかるように配慮されている。</p> <p><自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫> ○問題解決の過程に沿った構成になるように工夫されている。また、キャラクターの台詞や会話が問題解決における理科の見方・考え方のヒントになっており、児童が問題を科学的に解決できるように工夫されている。「見つけよう、ふしぎなぜ」では、実際に同じ体験をさせることで、どの児童からも疑問が引き出せるように配慮されている。同一の実験を複数回、又は複数の実験方法で検証する例が示されている。</p>	
資 料	○単元冒頭にはダイナミックな写真と学習の概要を示したリード文があり、児童が見通しをもって問題解決に取り組むことができるように工夫されている。 ○発展的な内容の記述があり、学習した内容を深く理解できるように工夫されている。 ○吹き出しを使って児童が考える視点やヒントを与えて、問題解決をサポートできるように配慮されている。 ○授業の流れの中でQRコードによる参考情報が活用できるように工夫されている。	
表記・表現	○「問題」や「観察」等のマークを白い下地にし、字形が判別しやすいように工夫されている。 ○色覚の多様性を考慮し、CUDの観点から識別しやすい配色やデザインを用いている。 ○単語の途中で改行せず、文節で改行して読みやすくなるように工夫されている。 ○当該学年の配当漢字には、単元初出に振り仮名を付けている。	
総 括	○巻頭で「1年間の学習」や「理科の学習の進め方」を示し、季節と関連づけた学習や問題解決の過程のつながりを意識できるように工夫されている。 ○安全に配慮が必要な箇所には、赤で「注意」のマークを配置し、注意を促している。	

書名 項目	<h1>わくわく理科</h1>	6 1 啓林館
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○観察・実験では、準備物のチェック欄があり、手順が図や言葉で示されている。また、単元末には「まとめノート」で振り返り、「たしかめよう」の問題で単元毎に学習内容の確認ができるように工夫されている。さらに、各単元で新しく使う器具の扱い方が単元ごとに掲載され、確認できるように配慮されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○問題解決の過程を「学びのライン」でつなぎ、学びの見通しがもてるように工夫されている。「考察しよう」では、キャラクターの吹き出しに、見方・考え方マーカーを付け、思考力、判断力、表現力等を働かせることを促すように工夫されている。「活用しよう」では、思考力、判断力、表現力等を一層育成できるように工夫されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○生命を尊重し、自然を愛する心を育てることにつながる場面には、「自然を大切にマーク」を付けている。「くらしとリンク」では、学習した内容が日常生活につながるように工夫されている。単元冒頭の「はじめに考えよう」と同じ問いを単元末で問い直すことで新しく得た知識を再確認し、学びを実感できるように工夫されている。</p> <p><見通しをもって観察、実験を行うための工夫> ○「理科の楽しみ方」で問題解決の過程の流れを示し、学んだことが次の問題へつながるように構成されている。また、それに合わせたノートのまとめ方が示されており、学習の流れをより意識できるように工夫されている。導入では、既習内容や生活経験との関連から単元の見通しをもたせ、興味・関心を喚起するように配慮されている。キャラクターの台詞に下線が引かれ、理科の見方・考え方をどのように働かせるかが強調されている。</p> <p><自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫> ○問題解決の過程に沿った構成になるように工夫されている。また、理科の見方・考え方を働かせたキャラクターの台詞に下線が引いてあり、児童が問題を科学的に解決できるように工夫されている。「問題をつかもう」では、実際に同じ体験をさせることで、どの児童からも疑問が引き出せるように配慮されている。同一の実験を複数回、又は複数の実験方法で検証する例が示されている。</p>	
資 料	<p>○単元冒頭でダイナミックな写真と学習の概要が示され、児童が見通しをもって問題解決に取り組むことができるように工夫されている。</p> <p>○活用問題があり、学習した内容を深く理解できるように工夫されている。</p> <p>○吹き出しを使って児童が考える視点やヒントを与えて、問題解決をサポートできるように配慮されている。</p> <p>○授業の流れの中でQRコードによる参考情報が活用できるように工夫されている。</p>	
表記・表現	<p>○UD書体を採用し、字形を判別しやすく読み間違えにくいように工夫されている。</p> <p>○色覚の特性をふまえ、MUDの観点から識別しやすい配色を用い、色名を表示している。</p> <p>○単語の途中で改行せず、文節で改行して読みやすくなるように工夫されている。</p> <p>○当該学年の配当漢字には、単元初出に振り仮名を付けている。</p>	
総 括	<p>○巻頭で「理科の楽しみ方」と目次で「季節ごよみ」を示し、問題解決の過程のつながりや季節と関連づけた学習を意識できるように工夫されている。</p> <p>○安全に配慮が必要な箇所には、多種類のマークを配置し、注意を促している。</p>	

理科 調査資料2

○分量について

内容	学年	東書	大日本	学図	教出	信教	啓林館
1 総ページ数 ※ 目録に記載されたページ数	3年	178	205	188	193	164	190
	4年	202	229	208	233	192	202
	5年	170	197	196	209	156	194
	6年	202	233	236	225	188	218
2 観察、実験数	3年	30	24	34	31	42	28
	4年	34	38	38	34	58	36
	5年	24	26	27	28	44	26
	6年	33	23	35	34	64	32
3 単元数	3年	11	11	12	11	14	11
	4年	11	10	11	11	16	11
	5年	10	10	9	9	11	9
	6年	11	11	10	9	10	10

○領域別観察・実験数等について

内容	東書	大日本	学図	教出	信教	啓林館	
3年	エネルギー・粒子	15	11	17	15	24	14
	生命・地球	15	13	17	16	18	14
4年	エネルギー・粒子	15	13	16	14	29	15
	生命・地球	19	25	22	20	29	21
5年	エネルギー・粒子	13	10	9	12	14	10
	生命・地球	11	16	18	16	30	16
6年	エネルギー・粒子	16	6	17	16	29	15
	生命・地球	17	17	18	18	35	17

○その他

内容	学年	東書	大日本	学図	教出	信教	啓林館
1 発展的学習のための教材数	3年	3	7	6	4	6	6
	4年	4	15	6	4	11	5
	5年	4	10	11	9	6	6
	6年	4	19	9	8	9	16
2 科学的な読み物などの資料数	3年	14	29	17	17	25	21
	4年	21	28	29	18	26	32
	5年	15	33	25	28	20	27
	6年	19	25	28	37	19	25
3 QRコードの数	3年	120	150	132	41	38	82
	4年	148	142	142	55	69	71
	5年	115	127	126	66	64	106
	6年	122	150	150	75	75	103